



## IP グループでの IP プールの追加

- [マニュアルの変更履歴 \(1 ページ\)](#)
- [機能説明 \(1 ページ\)](#)
- [機能の仕組み \(2 ページ\)](#)
- [モニタリングおよびトラブルシューティング \(2 ページ\)](#)

### マニュアルの変更履歴



(注) リリース 21.24 よりも前に導入された機能については、詳細な改訂履歴は示していません。

改訂の詳細	リリース
初版	21.24 より前

### 機能説明

既存の CUPS プラットフォームでは、新しい IP プールが追加されると、この新しいプールの作成後に登録されたユーザープレーン (UP) のみが該当するプールを使用できます。既存の UP で新しいプールを使用するには、UP のリロードまたは UP の再関連付けを実行する必要があります。

IP グループへの IP プールの追加機能により、新しい IP プールが追加されると、APN 設定をもとに、既存の各 UP にこの新しいプールからチャンクを取得する資格があるかどうかの評価されます。UP に新しいプールからチャンクを取得する資格があれば、チャンクが UP に割り当てられ、以降のコール割り当てに使用されます。

次のシナリオで、UP は資格ありと判断されます。

- APN にプールグループが設定されている。新しいプールは、このプールグループに追加される。

- APNにプール名およびプールグループが設定されていない。新しいパブリックプールが追加される。



(注) APN で実施された変更は、UP が再関連付けまたはリロードされるまで有効になりません。

## 機能の仕組み

ここでは、IP グループに IP プールを追加する機能の仕組みについて簡単に説明します。

### CP-CP ICSR 環境での新しいプールの追加

1. スタンバイ コントロールプレーン (CP) に新しいプールを追加します。
2. アクティブ CP に新しいプールを追加します。  
チャンクは適格な UP に割り当てられ、同じものがスタンバイ CP にチェックポイントされます。
3. 両方の CP に対する `show { ip | ipv6 } pool-chunks pool-name <name>` コマンドが同期されているかを確認します。

### CP-CP ICSR 環境でのプールの削除

1. アクティブ CP のプールを削除します。
2. `show { ip | ipv6 } pools` コマンドを使用して、すべての IP がスタンバイ CP の削除されたプールから解放されていることを確認します。
3. スタンバイ CP のプールを削除します。



(注) 同じ IP プールの IP Pool コマンドと Busyout コマンドを同時に追加すると、競合状態が発生します。この問題を回避するには、IP Pool コマンドと Busyout コマンドを別々に実行します。

## モニタリングおよびトラブルシューティング

この項では、機能のモニタリングとトラブルシューティングのサポートに使用できる CLI コマンドに関する情報を提供します。

## コマンドや出力の表示

この項では、この機能のサポートにおける `show` コマンドまたはその出力について説明します。

### `show ip user-plane verbose`

この CLI コマンドの出力には、CUPS モードでの IP グループへの IP プールの追加機能をサポートする次のフィールドが表示されます。

- 動的プール数
- `apn-without-pool-name-v4`
- `apn-without-pool-name-v6`
- プールグループ
- プールグループ名

show ip user-plane verbose

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。